



～ 放射線の話 自然被ばくと医療被ばく ～

放射線は、医療・工業・農業などの様々な分野で使用されています。このうち多くの方が身近と感じるのは医療で使用している放射線かと思います。今回は、病院や健診で受ける放射線による被ばく「医療被ばく」と日常生活で自然界から受ける「自然放射線被ばく」についてご紹介します。

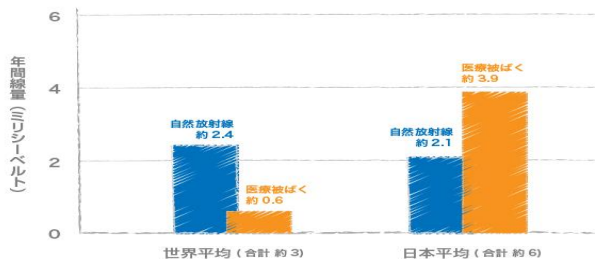
I. 自然放射線

私たちは地球上で生活しているだけで、宇宙や大地、食物から知らないうちに放射線を浴びています。世界では年間2.4mSv（ミリシーベルト）、日本国内では年間2.1mSvの「自然放射線」を受けています。

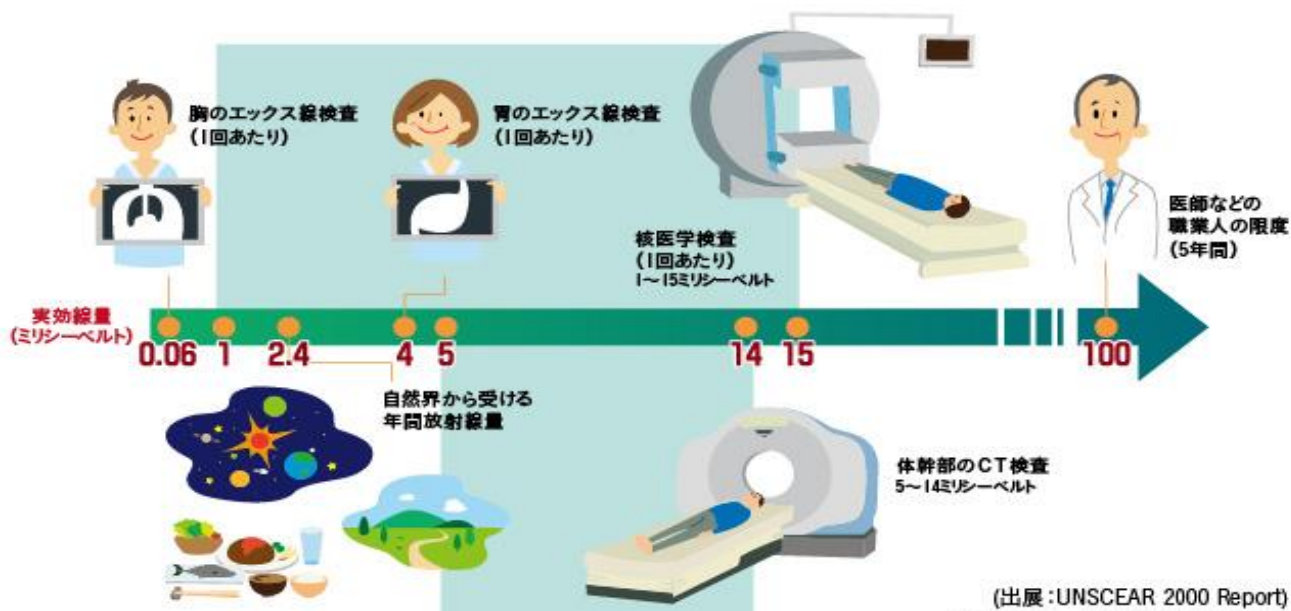
II. 医療放射線

診断などに使う放射線（胃レントゲン検査やCT）は、撮影や撮影場所、体格によって違いはありますが、身体に影響がでることのないごく微量の被ばくです。日本の医療被ばく量は一人あたり年間3.9mSvと自然放射線よりも

多い被ばく量です。これは医療水準が高く、診断や治療に放射線を使用する機会が多いためと考えられます。そのため医療現場では厳格な規制やガイドラインが設けられ、安全を確保するための対策がとられています。



出典：環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（平成28年度版）」より作成
 出典：環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（平成28年度版）」



(出展：UNSCEAR 2000 Report)
 (日本アイソトープ協会 homepage より)